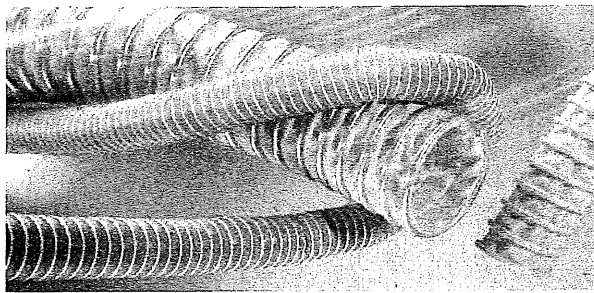


エフ・アイ・ティ！パシフィック

圧倒的な耐久性を誇る耐熱ホース

エフ・アイ・ティ。自動車のエンジン・パシフィック（東京 実験などで必要とされ・台東区、笠井庸正社）の耐熱ホースを、需要（長）が取り扱うドイツのある溶接事業者向け製耐熱ホース「CPS」にも販売している。リーズン写真が注目を集めている。同社は優れた耐久性。ホースは自動車の安全に關する設備を取り扱っている。ス壁は硬い外周鋼線の



スチールガイドがついており、ホース本体を保護する特殊構造となっている。そのため、引きずりや部品がぶつかるなどの衝撃に非常に強い。この鋼線は接着剤や可塑性は使用せずにはせん状に絞（か）めて、長期利用できるように。ホースの太さは、38

また、ホース本体に難燃性素材が使われており、マイナス60度から高温となる1100度までの温度に耐える。また、ホース本体に難燃性素材が使われており、マイナス60度から高温となる1100度までの温度に耐える。また、ホース本体に難燃性素材が使われており、マイナス60度から高温となる1100度までの温度に耐える。

競合他社が少ない高だ。同社では「溶接の機能ホース分野だが、新規工場や研究所はもろろん、はるかに機能性が劣る塩化ビニールや樹脂を基本装備として集じん機やヒュームが焼け落ちてしまった場合の交換など、ニーズの絶えない製品1まで。